

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

評価年月日:令和 6年 3月 10日

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名: 放課後等デイサービス 勇中

項目	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	評価や指摘するべき事項の取組方法 他の事業所との取組
環境・体制整備	1 利用定員が指導員室等スペースとの関係で適切である	○		学習と運動、集団活動を分けて保育が提供できるように環境を整えています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		児童発達支援責任者、保育士、児童指導員、作業療法士、音楽療法士など他職種が配置されています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構成された環境になっているか。また、障がい児の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされている	○		階段スペースには手すりの配置をして危険防止に備えています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの遊戯活動に合わせた空間となっている	○		清潔・衛生管理に日々取り組んでいます。	
	5 事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)など職員が参画している	○		運営と保育の会議を設定しています。職員全員で業務改善に向けた意見交換を行っています。	
	6 保護者等向け評価書により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様より頂いたご意見を改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価書及び保護者向け評価書の結果を基に、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			初年度の為公表ができておりませんが、頂いたご意見を元に自社ホームページで公開対応を行います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		他事業所との連携を取り業務改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修と社外研修に参加して知識の向上に努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子様と保護者様のニーズと課題を正確に聞き取りをした後に、職員と共有して支援計画の立案をしています。	
	11 子どもと発達行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		国語の際には標準化された質問紙を使用して広くお子様の状況を把握できるように努めています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人・支援及び移行支援)」、「地域連携」、「地域支援」を示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿った保護者様、学校、園、相談員様から広く情報を集めて支援内容を決定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員でプログラムの立案に関わり対応をしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月単位でイベントプログラムを職員全員から意見を集めて作成しています。	
	16 子どもと状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に実施し合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動をそれぞれの場面における支援計画を立案しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時間を設けて、支援前日当日の役割や保育目標の確認をしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○		プログラムや活動の振り返りを職員間で共有しています。	
	19 日々の実施において記録をとることを徹底し、支援の振り返りに活用している	○		支援計画の確認をしながら日々の記録から経過確認をしています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の修正・改善を行っている	○		定期的にモニタリングを行い計画の修正と改善を行っています。	
	関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達に精通した職員も必ず参加している	○		児童発達支援責任者及び管理者が担当者会議に参加しています。
22 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○			相談支援事業所や他事業所などと連携を取りながら支援をしています。
23 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを支援している場合」地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			該当者がいないため未実施です。
24 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関と連携体制を整えている		○			該当者がいないため未実施です。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)からの支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保育所や認定こども園、特別支援学校と連携を取りながら情報の共有に努めています。	
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		小学校や特別支援学校と連携を取りながら情報の共有に努めています。	
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修が開催されている際は積極的に参加をしています。	
28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			保育所や認定こども園等との関わりを持つ機会がない為、感応対策に注力しながら実施をしています。
29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		○		研修が開催されている際は積極的に参加をしています。	
30 日頃から子どもと状況や保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を深めている		○		連絡帳や送迎時のお話等日々情報の共有に努めています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して「児童発達支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)」の支援を行っている		○		保護者様との交流の機会を設けています。状況に応じて電話やLINEを用いたご相談を受けています。	
32 運営規程、利用費負担等について丁寧な説明を行っている		○		ご契約時に記載された内容を確認しながら口頭でも合わせてお伝えをしています。	
保護者への説明責任	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		お子様と保護者様のニーズと課題を正確に聞き取りをした後に、支援計画の作成を行っています。認識にずれがないか内容のご確認をいただいています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に対して適宜ご対応をさせていただきます。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者様が参加できるイベントや活動などの立案し、保護者様同士の交流の場を作る機会を設けていきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談に対して適宜ご対応をさせていただきます。
	37 定期的に活動報告を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSでの活動報告と月単位の行事予定表を共有させていただいています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の書類は鍵付きの書庫で管理をしています。	
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者様へは書面でのお伝えと送迎時に直接お伝えができるように対応をしています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	○			地域のイベントに参加できるような企画や活動を取り入れています。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			緊急時対応マニュアルを作成してお渡しをさせていただきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			月に1度災害時避難訓練を行っています。また、緊急時のマニュアルも作成しています。
	43 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のことなどの状況を把握している	○		ご契約時に内服薬や身体症状について聞き取りをしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	○		ご契約時にお子様のアレルギー情報の聞き取りをしています。医師の指示書があればご提出をいただいています。	
45 セラミック事例集を作成して事業所内で共有している	○		データと紙媒体での管理をしています。		
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修へ参加を行い知識の共有を行っています。		
47 どのような場合にも必ず必ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記録している	○		ご契約時に身体拘束に関するご説明と個別支援計画への反映をしています。		

〇の「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。